

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

10

2012 No.697

3 はじめの言葉

4 どうなる日本／日本の企業

哲学もポリシーもなくして

田原文夫

賤のない人間にゆとりを与えるとどうなるか。さぼるだけである。「小人閑居して不善を為す」の例え通りである。日本人が遊んでいる間に、隣国の中国、韓国が大きな経済発展を遂げている。かつての「世界の工場」の座を完璧に隣国諸国に譲り渡してしまった日本には、「失われた 20 年」という標語だけが残った。ジャパンアズ No.1 そしてバブル崩壊からの 20 年は、日本が無為に過ごした年月として、今指摘されている。国内での生産活動を停止した日本企業。国内での労働の機会を失った日本人労働者。しかし、日常生活必需品は、溢れんばかりの日本。果たしてこれを、ゆとりと言い、ゆとりのある国と言うのだろうか。何もしないで過ごしてきた「失われた 20 年」の間に日本は、本当は何を失ってきたのか。真摯に考え直すべき時だろう。最も深刻なことは、人的資産の喪失である。人的資産の確保は、文字通り、一日にしてなるものではない。一方で熟練労働者の処遇を粗末に扱い、一方では後進の育成を怠ってきた。最も基本的な社会的義務をさぼってきた日本および日本企業が失ったツケは、これからまわってくる。

10 情報社会を考える その 25

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

日本の情報社会作りは、確かに国策コンピュータメーカーを中心にしていた。しかし今は昔の物語である。せつかく国費を投じて日本が育成したメーカー各社は、軒並み「深刻な業績不振」「株価低迷」に喘いでいる。理由は至って簡単。人材育成を怠ってきたからある。情報社会作りに関与するには、適切な人材育成がなくてはならない。システム作り現場の鉄則中の鉄則は、今後とも変わることはない。

13 日本再生／世界競争力回復のカギ

何故 M-B I M 構築が必要か その 20

水田 浩

東北の復興費は 2011 年度の第 1～3 次補正予算と 2012 年度の復興特会予算案の合計で 18 兆円を超え、当初 5 年間で見込んだ 19 兆円に迫る。この復興費で行われる事業は、全自治体が 2000 年代に導入を決めた建設建設 CALS を、国交省の電子入札と電子納品のガイドラインで実施される。

19 連載 アーキテクチャ論 (18) システミグラム

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

本稿では、Boardman.J と B Sauser [1]によって2008年に出版された書籍に基づいて、システムからなるシステム(SoS: System of Systems)を分析するために考案されたシステム図であるシステミグラム(Systemigram)について解説する。SystemigramはSystemicとDiagramを組み合わせたシステム図を表す Boardman による造語である。

30 企業情報システム製品の条件と セキュリティポリシー見直しのポイント

aism

早くから話題を集めていたアップル社の新製品 iPhone5 が新発売となり、あわせて OS のバージョンも iOS6 へとバージョンアップされた。モバイル端末については、本欄においても何度となく検証してきたが、改めて Windows OS 端末との比較をしてみた。また、こうした豊富な機器の登場が、既存の企業情報システムにどのようなリスクをもたらすか。そのためのセキュリティポリシーの見直しのポイントについても考察してみた。社会的に定着しているフリーメールサービス、FaceBook などの SNA 活用も企業情報システムには困惑の元となってきた。

34 ものの造れる日本再生に向けて 第二／第三の創業へ 第13回 ナレッジマネジメントと

Dr.ベスト

人的資源管理 (HRM) の論理的背景 (2)

1970年代のオイルショック後の1980年代は「激動の時代」と予測されたが、実は、「ジャパンアズNo1=No1としてのニッポン」という、今にして思えば黄金期だった。その黄金の夢が一気に醒めたのが、1991年のバブル崩壊という悪夢からの出発だった。そしてそれは、さらに厳しい姿勢で日本全体の産業界のリストラクチャリングに挑戦する時代の幕開きだった。まさに温故知新である。新興国にはない一企業の枠を超えたリストラクチャリングの歴史をひもといてみよう。鉄鋼、造船、エンジニアリング、自動車、電気・電子業界の動向を追いながら、これからの日本再生に向けて踏み込んだ展望をしてみたい。

39 IT新時代とパラダイム・シフト 第37回 証券取引の高速処理

・高頻度処理がもたらすパラドックス

根本忠明

世界の証券取引システムが、新たな時代に突入している。世界経済のグローバル化に対応した高速処理・高頻度取引の売買システムが、求められてきた。マイクロ秒で利益を求める世界の投資家の要求を満たせない取引所は選別されかねず、世界の証券取引所は再編の時代を迎えている。皮肉なことに、このシステム売買のハイテク化が、取引システム全体を不安定化させ、制御不能なフラッシュ・クラッシュ現象を引き起こしている。投資家は突然想定外の混乱に引き込まれ、大損するケースも発生している。政府と証券取引所は、

この高速処理・高頻度取引の売買システムにどう対処すべきが、問われている。

4 3 続インテリジェンスへのいざない 33

事実か定かでないデータ、

インテリジェンスの暴走(2)

今井 武

情報社会である。コンピュータの活用が社会的に普及したからでない。確かに、コンピュータは情報処理の増幅器である。しかし本当の情報処理は人間がするもの。コンピュータはツールに過ぎない。この当たり前が解っているくせに、基本となるデータ収集に余計な恣意を介在させてしまう。お粗末である。コンピュータにゴミを入れたらゴミが増幅されるだけである

4 6 一味違うウェブ検索

第二十七話 資料のチェック④

事実と推測を誤解させる仕組みを理解する

ぐうのうえぶへい

今回は収集した資料のチェックの第四回目である。収集した資料情報の中には、事実でないものが含まれている。それを見分けるには、資料情報の元となるマスコミ報道から研究論文に、推測や解釈が、いかにして紛れ込むかのメカニズムを理解しておくことが、大切である。

4 9 連載 ことわざ笑タイム

すぎやまチヒロ

☆☆

WebCR 編集部からのお知らせ

本誌に連載／掲載されている記事に関するご質問、ご意見をお待ちしております。近い将来に予定されているプロジェクトに先立って不安や問題点の確認をなされたい方、現在進行中のシステムのプロジェクトマネジメントにおけるトラブル関連など、何でも結構ですので、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

cr-info@jmsi.co.jp

☆☆

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300)
A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの
落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリニクス 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシントリニクス研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛セキュリティ心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2012年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の
情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)
A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300)
A5版 228頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れない企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300)
A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米商チーム崩壊の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米商事務所移転と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開発フル稼働とバグハンティング
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米商チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働中の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米商チーム、異なる三人組	第二十章 稼働中の二 安眠薬と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp